

# 2023 年度 I 期キャリアチャレンジ（東京港野鳥公園）の募集について

担当教員：高田雅之

## 1. コース名

「都市の自然を支える保護区の現場から実践的に学ぶ」

## 2. 目的

日本の自然環境は、行政、NGO、市民が連携して守られています。首都圏のような人間活動が過密なところにおいても同様で、いくつもの自然が守られ維持されています。このキャリアチャレンジの対象地である東京港野鳥公園もその一つで、元々埋立地であったところを自然の再生力を生かして作られた有料の公園で、東京都と企業と NGO が協力して樹林・湿地・干潟・草地を保全管理しています。このキャリアチャレンジでは、日本最大の自然環境保全 NGO である公益財団法人日本野鳥の会の指導のもと、拠点施設であるネイチャーセンターを中心に、施設運営、公園内の環境管理、ビジターへの普及活動等の日常業務を実践的に研修します。加えて、期間中日本野鳥の会本部と横浜自然観察の森での業務・活動も経験して研修の幅を広げます。それらを通して、今後の持続可能な社会を進める上での重要なセクターとしての NGO が果たす役割と、都市内の自然環境の保全管理と普及教育の在り方、さらには行政・企業そして社会と NGO との連携可能性について現場の視点から考えることを目的とします。

## 3. 受け入れ団体と受け入れ先

公益財団法人 日本野鳥の会（東京都品川区西五反田 3 丁目 9 番 2 3 号丸和ビル）

<https://www.wbsj.org/>

都立東京港野鳥公園（東京都大田区東海 3 丁目 1）

[https://www.tptc.co.jp/park/03\\_08](https://www.tptc.co.jp/park/03_08)

横浜自然観察の森

<https://sancyokohama.sakura.ne.jp/>（神奈川県横浜市栄区上郷町 1562-1）

## 4. 対象学生と人数

1 年生以上、5 名程度 ※2 年生以上の場合、コースは問いません

## 5. 時期と日数

事前研修：6 月から 7 月に 1～2 回行います。詳細は参加者にメールでお知らせします。

現地研修～2023 年夏期休暇に実施します。

事後報告：9～10 月に報告会を行います。また日報及びレポートを提出してもらいます。

日 数：7 日間とします。具体的な日程は先方と相談の上で決めます（不連続も可）。

## 6. 研修内容

受け入れ先の担当者の指導のもと、以下の研修を行います。

- ・ビジターの案内、双眼鏡の貸出等
- ・展示制作・補修、園内取材とブログ記事作成等
- ・公園内の環境管理作業
- ・公園内の自然環境調査
- ・イベントの補助
- ・各種データ入力や資料の整理作業
- ・その他、ネイチャーセンターの運営用務など

## 7. 募集

募集：募集期間は **5月8日（月）～5月21日（日）** です。

参加希望者は、以下の手順で応募して下さい。

- ①学部ホームページから志望調査票をダウンロードする
- ②Hoppii 上に仮登録する
- ③Hoppii の課題に志望調査票を提出する

選考：志望調査票と面接（対面またはオンライン）により選考を行います。

**5月29日（月）** に Hoppii 上で結果を発表する予定です。

説明会：開催予定はありません。

個別のメール問い合わせや面談希望（対面またはオンライン）に応じます。

## 8. その他

- ・研修中はコロナ対策について、受け入れ先担当者の指導に従うとともに、不織布製のマスクを常時着用するほか、各自で十分な配慮とコロナ対策を取って下さい。
- ・費用について、自宅から研修地までの交通費を各自で負担して下さい。
- ・参加者はキャリアセンターのインターンシップ保険に加入します。その際の費用負担はありませんが、参加者自身による登録手続きが必要です。
- ・フィールドスタディ（I期）参加者も、キャリアチャレンジに参加することが可能です。
- ・不明な点などありましたら気軽に担当教員の高田 ([mtakada@hosei.ac.jp](mailto:mtakada@hosei.ac.jp)) までメールでお問合せ下さい。